

「空腕」を歩く。

狂言には良く地名が登場します。

中でも「空腕」は、主人の言いつけで淀へ鯉を買いに行く道中、東寺→鳥羽縄手→淀・鳥羽の間と移動して行く物語。その位置関係をイメージいただけるとよりお楽しみ頂けるかな？と思ひまして、現代の地図に重ねるとどんな感じになるのか、当日の解説の補助にでもなればと思ひ案内図を作成いたしました。

ただし、少々無理もありますし、推測・・・というより歴史に思いを馳せる妄想に近い部分も多々御座いますので、あくまで参考程度にお考え下さい。

皆様の想像の手助けになれば幸いです。



後記

この「空腕」というお話に季節についての言及は有りません。ただ、鯉の旬が冬なので少なくとも秋以降と仮定するならば日没は午後六時ごろ。ちなみに、東寺から淀城跡までを地図検索すると徒歩で片道2時間半弱！なんと往復5時間です。果たしてそんな時間に魚屋が空いているのか？という懸念も含めまして、なかなか大変な御用を仰せつかりましたね。